

真の父母様御聖誕、基元節 3 周年、天宙祝福式

祝祭の歡喜、天地にこだま

天一国4年天曆1月6日(2016年陽曆2月13日)、韓国・清平の清心平和ワールドセンターで「天地人真の父母様 聖誕記念式」が盛大に開催され、全世界の食口及び各界指導者約3万人が集まりました。また、天曆1月13日(陽曆2月20日)には、「天一国基元節3周年記念式及び2016天地人真の父母天宙祝福式」が同センターで挙行。真のお母様は、天一国の運営組織である五苑のうち「天政苑」、「天公苑」、「天財苑」の出発を宣布された上で、2020年までの4年間に「霊肉が一つになって真のお母様の実体的な歩みと共に歩むこと」を願われながら、「氏族メシヤの責任を完了して地上天国をつくっていきましょう」と呼び掛けられました。また祝福式を通して、会場の約3000組を含む約1万5000組のカップルが、新しい天の家庭を出発しました。

天地人真の父母様 聖誕記念式

2月13日、真のお父様が96歳、真のお母様が73歳となられた御聖誕日における記念式は、代表報告祈禱に続いて、記念映像『真の父母様 聖誕～天には栄光、地には祝福』が上映。冷戦終結の大きな条件となった欧州旧共産圏における地下宣教「バタフライ作戦」を中心に、真の父母様の勝利の路程を振り返りました。

その後、真のお母様が文善進世界会長を伴われてご入場。全体で敬拝をお捧げするとともに、参加者を代表して文權進様ご夫妻が、お母様に花束を奉呈されました。

ケーキカットと礼物奉呈の後、文善進世界会長が歓迎の辞で、「1960年の聖婚以来、真のお母様はお父様と共にたいへんな道を歩まれながら、世界のすべての子女たちを背に負われ、平和と愛の家に導いてこられました」と指摘。「私の切なる希望と祈りは、私たちすべてが真の父母様の愛と知恵を相続し、これを未来世代はもちろん全世界人類に伝えることです」と訴えられました。

続いて、海外来賓を代表し、フィリピンのホセ・デベネシア・アジア政党国際会議常任委員会共同委員長が祝辞。アフリカやヨーロッパ、アジアなどが



ら150人以上の国会議員が式典に参加していることに言及した上で、「(『国会議員による平和機関を設立したい』というお母様の構想が)今回まさに国際的組織として発足する段階に至りました」と述べ、自らも「神の下の人類一家族のビジョンを成し遂げるために最善を尽くします」と誓いました。

祝詩の朗読、お母様が作詞された祝歌『真の父母様 聖誕祝賀曲』などが披露された後、全体でお母様に敬拝をお捧げし、第1部が終了しました。

第2部では、韓国のカーブメンバーを中心に制作されたミュージカル「天一国 蝶の夢」が上演されました。

このミュージカルは、1980年代の共産圏での地下宣教「バタフライ作戦」が出発したオーストリアのウィーンと、冷戦中にワールドカーブ大会が開かれたドイツのベルリンが舞台。命を懸けて冷戦終結に決定的な役割を果たした「隠れた英雄たち」のために捧げる内容で特に、ワールドカーブ大会のシーンは、情熱的にスピーチをされる文孝進様の当時の映像と、出演者による迫力ある演技と心情的な表現とがあいまって、観る者は涙を禁じ得ませんでした。

最後は金起勲・北米大陸会長が力強く億万歳四唱を唱え、全体でお母様に敬拝をお捧げし、式典は幕を閉じました。

御聖誕を祝賀して午餐会

式典後は、天正宮博物館で「真の父母様 聖誕祝賀午餐会」が開催され、各界の指導者、国内外の国会議員150人、大臣16人、言論関係者、各国の家庭連合の指導者ら約500人が参加しました。午餐会では、真のお母様がみ言を語られ、「私たちの運動は、必ずや神様の夢、人類の夢を成してあげられる、ただ唯一の統一運動です」と語られるとともに、「今回、参席した50カ国から来られた国会議員たちの活躍するところが大きいです。大きな抱負をもって、熱心に自国や世界のために寄与してくださることを願います」と呼びかけられました。(3面に続く)

「基元節 3 周年記念式」「天地人真の父母 天宙祝福式」を挙



①基元節 3 周年記念式で「天政苑」「天公苑」「天財苑」の出帆が宣布(2月20日) ②御聖誕祝賀午餐会でみ言を語られる真のお母様 ③挨拶するホセ・デベネシア氏(以上、2月13日) ④天宙祝福式で祝辞を述べるダン・バートン氏 ⑤基元節 3 周年記念式で代表報告祈禱を行う宋龍天総会長(以上、2月20日)

2月20日午前、清心平和ワールドセンターで、「天一国基元節 3 周年記念式」と「天地人真の父母 天宙祝福式」が挙

行され、約 3 万人が参列しました。第 1 部の記念式では、天一国の歌斉唱の後、宋龍天全国祝福家庭総連合会総会長が代表報告祈禱。記念映像の上映に続き、盛大な拍手の中、真のお母様が艶やかな韓服姿で入場されました。

お母様は「天一国政策宣布」において、「天一国憲法」(教会法)に基づいた天一国理想成就のため、「天政苑」「天公苑」「天財苑」による天一国の統治機構体制が出帆することを宣布。また、2020 年までの 4 年間について、「天の父母様を中心とした人類一大家族の夢が成し遂げられ得る重要な時点」であることを強調されました。

第 2 部の天宙祝福式には、世界 62 カ国から会場に集った約 3000 組のカップルのほか、インターネット中継を通じて世界 194 カ国で約 1 万 2000 組が参加、合わせて 1 万 5000 組余りのカップルが式典に臨みました。

介添人に見守られる中、主礼の真のお母様が再びご登壇。聖水儀式の後、聖婚問答をなされ、「天の父母様(神様)の創造理想を完成する善男善女として、永遠なる夫婦の因縁を結び、天地人真の父母様の立てられた伝統を受け継ぎ、天一国が目指す理想家庭を完成することを約束しますか?」と問いかれると、新郎新婦たちは「イエー!」と力強く答えました。

続く祝禱では、真のお父様の音声会場に流れ、「真

の父母の権限を通して、祝福の血統につながれた新しい夫婦の上に、天の父母様の協力がありますように」との祈りが捧げられました。

新郎新婦の間で指輪交換が行われた後、お母様が聖婚の成立を高らかに宣布されました。

引き続き、ダン・バートン元米国下院議員ご夫妻が祝辞。バートン氏は、昨年自らが祝福を受けたことで夫婦関係が深まったというエピソードを披露しながら、「皆さんが悲惨なこの世界に真の愛を広めていくことを、天は願われています」と祝福の言葉を贈りました。

最後に、新郎新婦が真のお母様に感謝の敬拝を捧げた後、司会の先導で会場全体が「真の父母様、ありがとうございます!」「真の父母様、愛しています!」と感謝の掛け声。音楽が響き渡り、たくさんの風船が舞い上がって会場内が歓喜に包まれる中、お母様が退場され、祝福式は幕を閉じました。

第 3 部の文化公演は、お母様をお迎えして再びミュージカル『天一国蝶の夢』が上演。天のみ旨を成すため、困難な宣教地で命懸けの投入をしながら、「天一国の蝶の夢を叶えます」と誓う宣教師たちの姿に、会場は熱い感動に包まれました。

今回の式典には、AP 通信、ロイター通信、BBC など世界の主要メディアと、韓国、日本、ドイツからも多くのメディアが取材に訪れ、盛況の内に終了しました。

天の事情を知って自らの夢を育てよう!

「圓母平愛財団奨学証書授与式」



①真のお母様のみ言を聴く参加者
②真のお母様と文妍娥理事長から奨学証書を受け取った学生代表

「圓母平愛財団奨学証書授与式」が 2 月 14 日、韓国・清平の清心国際青少年修練院で行われました。式典には、圓母平愛財団から奨学金を受給する学生が世界各地より集い、日本からも代表として 6 人の学生(大学生 3 人、高校生 3 人)が参加しました。

天宙士官学校生とグローバルジュニア奨学生による式前公演の後、開会宣言。圓母平愛財団のビジョンとその活動を紹介する VTR が上映された後、文妍娥理事長が歓迎の言葉を贈られました。

続いて、真のお母様がみ言を語られ、「自分を中心と

した夢は限界があります。しかし、真の父母様の教えと天の父母様の事情を知って、皆さん方の夢を育てるならば、歴史的な人物となることでしょう」と強調。「皆さん方の行く道は、真の父母様のみ旨を奉る、天の父母様の願いをかなえてさし上げる、全世界が天一国の民となる道です」と奨学生たちを激励されました。(5-6 面に全文掲載)

その後、お母様は直接、各部門の代表に奨学証書を授与されました。式典は、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長による億万歳三唱を行い、閉会しました。

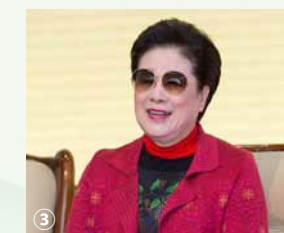
“真の父母様を堂々と明かすのです”

「日本公職者新春研修会」で真のお母様がみ言

2 月 14、15 日の両日、清心国際青少年修練院で「日本公職者新春研修会」が開催され、日本の責任者約 600 人が参加しました。15 日には真のお母様が研修会場を訪問され、激励のみ言を語って下さいました。

参加者全体で「サランチャジャ・インセンウルチャジャ(愛を探し、人生を探し)」「ムジョッコン(無条件)」を合唱した後、真のお母様にご登壇。「2016 年、赤い申(サル)の年は特別な年です。サルは才能に恵まれ、家族愛が強く、木の先端まで登り、遠くを見渡します。すなわち、2020 年まで希望の 4 年を出発する年です」と説明。最後に、「2020 年を、天の父母様、真の父母様の夢をなしてさしあげる時として刻み、私たちは真の父母様を堂々と明かすのです」と力強く激励されました。

その後、李成萬本部長のリードで億万歳を行い、全体記念撮影で特別集会は終了。日本教会の新しい出発を天が祝福してくださる恵み深いひと時となりました。



③参加者の歌を笑顔で聞かれる真のお母様
④花束を受け取られる真のお母様



真の父母様の夢を成し遂げる息子・娘となろう！

2016年2月14日 韓国・清心国際青少年修鍊院



① 以下のみ言は2月14日、韓国・清平の清心国際青少年修鍊院で行われた「2016 奨学証書授与式及び奉仕賞表彰式」において、真のお母様が語られた内容を日本語に翻訳し、整理したものです。

* * *

自分を中心とした夢には限界がある

尊敬する内外貴賓、指導者の皆さん。今日、圓母第4期奨学生授与式と、圓母奉仕者表彰式に参席してくださいましたことに感謝し、歓迎いたします。

奨学生の皆さんには夢があることでしょう。皆さんの夢は何ですか？真の父母様の環境圏内にいる皆さんの夢は、天の父母様の願い、夢を成してさし上げるにあたって、皆さんが先頭に立たなければなりません。そうしますか？（「はい！」）

各自個人の夢があることでしょう。しかし、自分を中心とした夢には限界があります。しかし、真の父母様の教えと天の父母様の事情を知って、皆さんの夢を育てるならば、歴史的な人物となることでしょう。

幼かった頃の私は、文学少女でした。風車と美しい花々があるオランダの風景を描いてみます。その時、私が読んだ記憶では、その国は他の国とは条件が違います。海水面が高いのです。それで幼い少年から全国民は、海に対する恐れがあります。

ある時、一人の少年が父母のお使いに行ってきたが、堤防から海の水が染み出してくるのを見ました。その時、その少年は、走って行って人々を呼ぶ時間的な余裕がありませんでした。それで石と土でその穴をふさごうとしましたが、難しかったのです。水は漏れ続けました。

それでその少年は、自分の体で、自分の手でその穴をふさいでいました。人が現れるのを待ちました。しかし、その時は冬でした。この幼い少年は凍り付いてしまいました。待っていた父母が帰ってくるべき息子が帰ってこないで、探しに出かけました。村の人々と共に行ってみると、変わり果てた息子の姿をみつけたのです。

皆さん、この少年の夢は、自分自身だけのためだけではない、国を守り、愛することでした。それでこの少年は、その国の歴史に記録されました。



真の父母様の夢に似るべき

今日、皆さんの夢は真の父母様に似なければなりません。太初に神様が天地万物をはじめ、人間まで創造されて、大きな夢をみられました。しかし、皆さんが原理を通して知っているように、人間始祖となるべきアダム・エバが墮落しました。しかし、自然は墮落しませんでした。それにもかかわらず、今日、墮落した人間たちの欲心と無分別、無知な行いが、自然を破壊しています。

今日、全世界で起こっている気候問題。深刻でしょう？そうでしょう？（「はい」）それで私は、皆さんが本当にこのような分野で、天の父母様の創造理想をそのまま保存し得るように、皆さんが各分野で夢を育てて、この自然世界を治癒しなければなりません。分かりましたか？

専門知識が必要です。無知なる人間を、見せてあげながら教育しなければなりません。そのためには、皆さんが率先垂範して、どのようにしたら、この汚染した地球を生かすことができるか、皆さんすべてが力を合わせて、真の父母様の教えに従って実践躬行する時に、その願い、その夢は成し遂げられることでしょう。

私は皆さんを誇りに思っています。分かりましたか？そのような面で皆さんは最高になってください。そこには私が惜しみなく協助します。（拍手）

そして、昨日の行事を皆さん、見ましたか？世界50カ国から現役の国会議員たちが集まってきました。その中には（かつての）共産圏、ロシア、ウクライナの現役国会議員たちも来ました。彼らが天一国の夢、「バタフライ作戦」に関するミュージカルを見ました。何を



② 国内外のVIPと奨学生ら約800人が参加
③ み言を語られる真のお母様
④ 世界各地から集まった奨学生

感じたでしょうか？「共産主義をもっては駄目だ。真の父母様の思想だけが、世界を一つにできる」ということを感じたことでしょう。（拍手）

そのような点で、今日、世界の至る所で起こっている宗教紛争、思想、国土、すべて形容しがたい困難に直面しています。それを消化するための国連の努力も深刻です。しかし、結論は人間の力では駄目です。本来の主人である神様、天の父母様のみ旨に合うよう行動し、生きなければならない人類であることを知らねばなりません。分かっているのに、私たちが悟らしめてあげなければなりません。そうでしょう？（「はい」）

それならば、皆さんが勉強する場においても、皆さんの同僚たち、学生たちがいることでしょう。知らせてあげなければなりません。今や堂々と全世界に向かって真の父母様がこの地に顕現されたことを知らせねばなりません。それで今回のこの行事では、真の父母様の聖誕が重要だったのです。分かりましたか？（「はい」）

皆さんは真の父母様の環境圏内にいる、愛する息子娘です。そうですか？（「はい」）皆さんの行く道は、真の父母様のみ旨を奉る、天の父母様の願いをかなえてさし上げる、全世界が天一国の民となる道です。その道だけが、皆さんが準備して一生懸命努力すべき道であることを肝に銘じてくれるよう願います。（「はい」）

そのように皆、約束するでしょう？（「はい」）ありがとうございます。

“森羅万象は天の父母様からの贈り物”

文善進世界会長のメッセージ

2月16日、清心平和ワールドセンター

以下のメッセージは2月16日、韓国・天宙清平修鍊苑で行われた天一国指導者総会で文善進世界会長が語られた内容を日本語に翻訳し、一部を抜粋したものです。

* * *

真の主人になるとは？

真のお母様は VISION 2020 を完遂される時まで、我々が守り実践しなくてはならない、とてつもない意味と知恵が込められた明確な標語を下さいました。

ご存じのとおり、この標語は「創造主 天の父母様に似た 真の愛を実践する天一国の真の主人になろう」です。

では、真の主人になるとはどういう意味でしょうか？

真の愛を実践し、天の父母様に似るためにはどのようにしなければいけないのでしょうか？

真のお父様は自叙伝において、霊的にそして意識的に全ての生命の本質を知らなければならぬと語られました。そして、天の父母様のように「真の主人」となるということの意味が何であるかについても語ってくださいました。その内容が最も良く分かる一節を読んでみたいと思います。

「環境問題が深刻になると、環境保護運動を行う団体が増えました。しかし、最も良い環境保護運動は愛を伝播する精神運動です。人間は、自分が愛する人のものであれば、何でも好んで大切にします。ところが、神様がつくられた自然を大切に愛することができません。神様は人間のために自然を下さったのです。自然を利用して食べる物を得て、生活を潤沢にするのは、その方のみ意です。自然は自分だけが使って捨てる、使い捨てる物ではありません。自然は子々孫々に至るまで、私たちの子孫が継続して食べる物を得て、体を支えて生きていくべき土台です。

自然を大切に保護する近道は、自然を愛する心を持つことです。道を歩いていて一株の草を見ても、涙を流すことができません。一本の木を抱きかかえて泣くことができません。一つの岩、一瞬の風にも、神様の息遣いが隠れていることを知らな



文善進世界会長のメッセージに耳を傾ける参加者

ければいけないのです。自然を大切に愛することは、神様を愛することと同じです。神様がつくられたすべての存在を愛の対象として感じなければなりません。博物館にある一つの作品がいくら立派だとしても、生きている神様の作品には及びません。道端に咲く一輪のタンポポが新羅の金の冠より貴いのです」（『平和を愛する世界人として』315～316ページ）

真のお父様が教えて下さったように、我々は環境と全ての万物を情熱と関心をもって愛する方法を学ばなければなりません。

これは地球上の自然環境と全ての生命に対してのみ適用されるのではなく、職場、教会、学校、隣人、都市、国家など全ての社会的、精神的環境に適用される内容です。

地上と宇宙の森羅万象は全て天の父母様に属しています。そのため、我々はこのような栄光ある全ての生命の贈り物を尊重し、大切に扱い、管理をしなければならず、保護され愛された世界を未来の世代に残してあげなければなりません。

それが、真の父母様の心情であり、この場に集った天一国指導者である皆様の心情であり責任でなくてはなりません。父母の立場にある皆様は、自らの責任領域において、我々統一家の成長、管理、そして今後の成功と持続可能性について責任を負っているのです。

“宗教指導者は自然を守る運動の先頭に”

ソウルで「国際指導者会議 2016」



①ソウル市内のホテルで行われた国際指導者会議 ②基調講演を行う文善進 UPF 世界会長 ③挨拶するネパール国会のチャヤ・アリユ・バント国会議員 ④韓国の国会施設で行われた会議で挨拶する金乙東・国会議員

「現代の重要課題に取り組む：政府、市民社会、信仰を基盤とする組織の役割」をテーマに「国際指導者会議（ILC）2016」（主催：天宙平和連合＝UPF、共催：ワシントンタイムズ財団、韓国世界日報）が、2月12日から16日にかけて韓国・ソウル市内のホテルで開催され、世界60カ国から現職国会議員150人を含む約350人が参加しました。

12日に行われた開会晩餐会では、ネパール国会議員のチャヤ・アリユ・バント女史が挨拶し、「いまや各国政府や国際機構は非政府組織の動きを無視できなくなっています。世界が直面している飢餓、貧困、気候変動などの問題に対処するには、市民社会や信仰を基盤とする組織の働きが非常に重要です」と述べました。

UPF 創設者である文鮮明、韓鶴子両総裁の御聖誕に当たる2月13日には、京畿道加平郡で祝賀行事と午餐会が行われ、ILC 参加者が全員招待されました。

2月14日には、①気候変動、②過激思想の克服と紛争の平和的解決の促進：宗教および信仰を基盤とする組織の役割、③北東アジアおよび朝鮮半島の平和と安定、④現代の重要課題に取り組む：各リージョンの視点、という4つのテーマで会議が行われ、それぞれの分野の専門家が発題し、活発な討論が行われました。

気候変動に関するセッションでは、文善進 UPF 世界会長が基調講演し、「私の両親は生涯にわたって恒久平

和世界を築くために献身的に働いてきました。そして私たち人類は、神によって創造された貴重な賜物である万物に対する意識と感受性をもっと発達させなければならぬと教えてきました。万物に対する愛は、私の両親の神学的・道徳的ビジョンの本質的な要素でありました。環境を愛することなしに、平和な世界を造ることは考えられません。世界の諸宗教は、万物の良き管理者として人間が創造されたことを教えています。しかし現実には、人間の利己心によって自然が破壊されています。宗教指導者たちが、自然を守る運動の先頭に立たなければなりません」と訴えられました。

15日には韓国の国会施設で「韓半島統一と世界平和のための国際指導者会議」が行われ、ILC 参加者ならびに多数の韓国国会議員が参加。鄭義和・韓国国会議長が挨拶し、「世界中の国会議員が人類の福祉と平和のために協力すべきときが来ました」と強調しました。各国の国会議員のスピーチの後、「世界平和議員連盟創立決議案」が採択され、参加者一同がこれにサインしました。

その後、ILC 参加者一同は南北分断の地である臨津閣を訪れ、「Peace Road 2016」出発式に参加。夜には文総裁ご夫妻の創設されたユニバーサル・バレエとリトルエンジェルス公演を鑑賞し、韓国の文化芸術を堪能して ILC は閉幕しました。



ネパールのエクナス・ダカール平和復興大臣ご夫妻から花束を受け取られる真のお母様(御聖誕祝賀午餐会)



乾杯される真のお母様 (中央、同)



日本からの礼物を受け取られた真のお母様 (基元節 3 周年午餐会)



式典が行われた清心平和ワールドセンター



南北分断の地である臨津閣で開かれた「ピース・ロード 2016」出発式



スタートする「ピース・ロード」の参加者たち



「ヘブンGバーガー」清平本店で奉献式を主宰された真のお母様 (中央)



「ヘブンGバーガー」を召し上がるお母様

慶 真の父母様御聖誕、基元節 3 周年 祝 2016 天地人真の父母 天宙祝福式



国際指導者会議のセッション後に記念撮影



天宙祝福式で祝祷を受ける参加カップル

真の父母様御聖誕と基元節 3 周年を祝賀するミュージカル「天一国蝶の夢」



清平本店内の展示をご覧になる真のお母様



韓国の国会施設で行われた国際指導者会議でスピーチされる文善進世界会長



祝福式会場で記念撮影するカップルたち



会場を魅了したミュージカルの一場面

真の父母様御聖誕記念「詩」公募展 優秀作品の紹介

真の父母様の御聖誕を記念し、1月15日から2月1日まで「詩」を募集しました。全国から多数応募していただき、誠にありがとうございました。今回は、受賞作品の中から、最優秀及び優秀作品を紹介します。

最優秀賞

御聖誕の朝に

シン マンホ
申 萬浩（北広島教区 呉家庭教会）

雪を被った山河に光照らす聖なる正月の六日

川を照らす星も息を潜め
天は暗闇の子女を救うため
もう一人の息子を送って下さった。
伝説の正道令^(※1)が現れ
釈迦が輪廻して還生し
イエスが成肉身に望む日

朝早く
蜘蛛の夫婦さえ
天につなぐ道を作り
上がり下がり巣を作り
家一軒急いで作り
綿布団広げて干したまま
倒れるように伏して祈る
その家の前、

古い国道を往来するあの靈魂達^(※2)、
天使らも上り下り
光を放つ。

その日は数千の門に通じ
見える全ては道に通じた。
主の通過する門が開き
新しい歴史が始まると
過去を封印するかのように急いで閉る
門のため
絡まった歴史が混沌とする緊迫した摂理の最中
毅然と立ち上がった女たち

義人となった女たちは
閉じた門を一つずつ開き始めた
最後に現れた女性は
天と地の全ての門を開き

生命録を引き出し、記録を始めた。
一人娘の生命録には
あなたが行った奇跡が記録され、
皆の血と汗と涙が記録され、
新しい役事がそこからまた始まる

今まで自己中心に世界が回ると思い、
生き詰った生活の末、死ぬべきこの命を拾い
昼夜を問わず見守り続け
しもべの如く生きてこられた
我が真の父母様
我、仕えるしもべになって初めて
父母の砂粒程の涙の数を数える

父母の心は水と同じ
数えても、数えても数えきれず、
未だに一つしか数えきれず
一つから一つまで
たった一つしかない世界で
一つしかない統一世界を夢見て身悶えし、
夕暮れの日を迎える

時間が経っても一つしか知らなく、
しもべになられた真の父母様の御前に
縮こまった体を広げ
祭壇に敬拝を捧げる時
み言葉が光のように溢れて散乱する。

「真の愛は与えて忘れるもの。
祝福は真の家庭の理想完成。
神氏族メシヤ勝利……」
疲れ切った父母様が
枯れた声で渾身の力で
宝石を吐き出す

「これを持っていてよく守りなさい。
この国を売っても買えないものだよ。」

次の日、人々がまた集まって
経典を読む声がカエルの鳴き声のように
「また下さい、また下さい」と聞こえる
「この野郎、また来たか、
昨日与えたものはみな失って、
またちょうだいと言えるか」
叱りながらも
来たのが嬉しくて
喜んでる父母様の温もりを感じる。

世界の光として来られた真の父母様
宇宙の主人なる父母様
嬉しき栄光なる日、
その光で救われた
父母様の御聖誕の朝
もっと下さい、
もっと下さい。
確かな声が壁を越え漏れて行く。

この朝、
祝福を受けた群れ

※1 ジョンドリョン
正道令：神の正しいみ言をもってこられる方という意味で、主の韓国再臨を予言した書物に出てくる

※2 お父様の家でご飯食べたりしてお世話になった方々の魂



優秀賞

永遠の光 真の父母様

後藤 士径^{たけみち}（熊本教区 熊本家庭教会）

ハレルヤ ハレルヤ
天より舞い降りた光
神のてのひらで生まれ
世界を照らす命の光
あなたはメシヤ 真の父母様
聖誕 Glory Hallelujah

ハレルヤ ハレルヤ
罪は焼かれて灰になる
真理の炎は永劫に燃える
みことばの剣は山頂に輝き
すべてのいくさを終わらせた
勝利 Glory Hallelujah

心情の故郷

T・M（北東京教区 荒川家庭教会）

宇宙の星が輝いて
きらりきらりと踊り出す
木々と風とがそよそよと
喜びの歌を歌い出す

歓喜の歌が天地に満ちて
貴方はついに訪ねて来られた

いつか過ごした愛の住処
どこか懐かしい愛の音色

誰もが忘れていた愛の故郷に
私を呼び戻しに来てくださった

かつて旅立った貴方の元

私が犯した罪の故
二度と戻れる事はないはずと
涙で去ったあの日のこと

貴方はどんな思いでおられたか

いつしか月日が過ぎ去って
帰るべき道が見えなくなり
帰るべき場所も分からなくなり
帰るべき事すら忘れてしまい

気づけば
ただ孤独で途方に暮れた

果てしない時代の真ん中で
貴方はついにこの地に来られた

今

貴方のあふれる愛の光が
私の心を輝かせ
暗く錆ついた扉を開き
行くべき道を照らして下さる

貴方の流れる涙の川が
私の心を洗い清め
枯れて乾いた心に染み込み
数多の生命を育てんとして下さる

ハレルヤ感謝 真の父母様
太陽がとわに輝くように
あなたの愛も永遠に消えない
ハレルヤ感謝 真の父母様
冬が終わるように
夜が明けのように
嵐が過ぎるように
新しい時代が開いた
あなたの愛から始まる新しい世界が

みことばの光が命を生かす
世界がよみがえり
地球が歌いだし
賛美の聲がこだまする

ハレルヤ ご聖誕 Happy Holy day
ハレルヤ ご聖誕 歴史が始まった日
ハレルヤ ご聖誕 父母を迎えた日
ハレルヤ ご聖誕 神の子女が生まれた日

ああそうか
私には帰るべき故郷がある

孤独な私をただひたすら
誰よりも孤独に愛して下さり
この時を待ち望んだ貴方がおられた

お前に帰ってきてほしい
共に歩んで欲しいのだと
帰り道を示して下さって
この心を奮い立たせてくださった

切実な貴方のその祈りが
ちっぽけな私を生かして下さったので

例えどんなに遠くへ行こうとも
私が帰るべき場所はただ一つ

貴方がほほ笑む心情の故郷

青年1300人が御聖誕を祝賀

大阪で GYF2016 が開催



- ①講演する田中富広副会長
- ②躍動感あふれるパフォーマンス
- ③会場ロビーの展示ブース
- ④会場前で記念撮影

雲ひとつない晴天に恵まれた「建国記念の日」の2月11日、大阪府内の会場で「グローバル・ユース・フェスティバル (GYF) 2016 in Osaka」(主催・第9地区成和青年部) が開催され、新規ゲストなど400人を含む約1300人が参加しました。真の父母様の御聖誕祝賀イベントの一環として行われたものです。

会場ロビーでは、家庭連合平和ボランティア隊「UPeace」や天一国青年宣教師の活動が写真などで展示。また、地元の各青年部が準備した展示ブースのほか、ミニバンドやアンサンブルなどの演奏が、ワクワクするような祝祭ムードを盛り上げていました。

大会は、壮大なオープニング映像で開幕。世界各地で活躍する成和青年の姿や、統一運動の創始者である真の父母様の平和思想が紹介され、初めて参加したゲストにも強い感銘を与えました。

また、地元の有識者は激励の辞で、「若者こそ日本の平和について真剣に考え、声を上げるべき」と強調しな

がら、会場に詰め掛けた若者の多さに「大きな希望を感じます」と語りました。

続いて、田中富広家庭連合副会長が記念講演。世界に溢れる様々な問題に言及しながら、それらの問題は私たちと無関係ではないと指摘。その上で、原因は私たちがつくる“壁”であり、その本質は“エゴ”であるとしながら、「これを解決しない限り平和は成せません」と訴えました。青年によるスピーチでは、「為に生きる」実践をしながら地域や社会において必要とされる存在になるのをめざしている男子大学生が、自らが描く未来のストーリーを堂々と語る姿が印象的でした。

プログラムの合間には、青年たちが躍動感あふれるパフォーマンスを披露。特に、初参加の大学生が大人数で踊った「よさこいソーラン」は圧巻でした。

豪華賞品が用意された抽選会に続き、最後は祝福二世たちのバンド演奏で会場が一つになり、大盛況のうちに大会は閉幕しました。

歌を通じて真の父母様に感謝を捧げる

真の父母様御聖誕祝賀記念「第16回小学生合唱祭」



- ①全国から1000人が集まった合唱祭
- ②中高生や父母も参加した“ファミリー合唱”
- ③A部門の金賞受賞校の一つ「足立、葛飾、荒川教会学校」

「第16回世界平和と理想家庭のための小学生合唱祭」が2月14日、埼玉県内の会場で開催され、全国各地からおおよそ1000人が集まり、会場は満席となりました。15年続いてきた合唱コンクールは、今年から真の父母様の御聖誕日を祝賀する祝祭イベントとして、新たなスタートを切りました。

開会式では、座間保裕本部成和子女部長が挨拶し、「真の父母様の好きな言葉に込めてお祝いしましょう」と述べた上で、真のお父様のお好きな「誠」と真のお母様のお好きな「愛」の意味をわかりやすく解説。真の父母様に感謝と喜びを捧げるため、精誠の限りを尽くして讃美してほしいと参加者を激励しました。

過去最多の21団体が参加した合唱祭は、課題曲「地球星」と自由曲を1曲ずつ歌うA部門と、自由曲を1曲披露するB部門に加え、今回から「ファニー(楽しい)」、

「フレンドリー(親切的)」、「フェイス(信仰)」、「フェスティバル(祝祭)」、「ファミリー」を象徴する「F部門」が新設。小学生に中高生や父母などが加わったF部門には参加団体の半数以上がエントリーし、家庭連合時代にふさわしい“ファミリー合唱”を披露しました。

合唱祭では、全体で「わたしたちのご父母様」「私の好きなご父母様」「うれしいご聖誕祭」を讃美。会場は真の父母様の御聖誕日を家族みんなで祝賀するムードに満ち溢れ、参加者たちは心をつにし、喜びの心情で御聖誕に感謝を捧げるひと時となりました。

最後に、本部成和子女部の齋藤安正次長の発声で億万歳。会場を希望と喜びの渦に巻き込みながら全体で声高らかに真の父母様の御聖誕を称え、合唱祭は幕を閉じました。

真の父母様御聖誕日と基元節 3 周年を迎え、各地で祝祭イベントを開催

真の父母様の御聖誕を全国・全世界に宣べ伝えたいとの思いを込め、御聖誕日（陽 2 月 13 日）及び基元節 3 周年（同 20 日）を記念する祝祭イベントが全国各地で行われました。2 月 14 日前後に行われたものの中から、主なものを紹介します。

神奈川

地域社会に
真の父母様を証す



神奈川教区の相模原家庭教会は 2 月 14 日、「誰よりも天地人真の父母様を誇り愛そう!」をテーマに、「御聖誕祭」を開催。数日前から地元の自治会長と商店街の理事長に挨拶し、地域にも新聞の折り込みチラシで告知しました。当日は、教会の玄関先に横断幕と花輪、モニターを設置。式典の様子をモニターで放映しながら、通行人に紅白饅頭と真のお父様の自叙伝をプレゼントし、御聖誕祭の意義を説明しました。式典後は、商店街にも紅白饅頭と自叙伝を配りながら、真の父母様を証しました。



岐阜

真の父母様の生涯を
紹介する「パネル展」



岐阜教区の岐阜家庭教会は、真の父母様の御聖誕を記念する「パネル展」を 2 月 12、13 日の両日、朝 10 時半から夜 9 時まで開催、新規ゲスト 19 人を含む 110 人が参加しました。真の父母様のことを知らなかったゲストも、自らの人生を振り返りながら、父母様の生涯に思いを馳せ、神様と人類のために生きられた 93 年の生涯に感服していました。



熊本

御聖誕祝賀式典に
400 人参加



熊本教区は 2 月 14 日、熊本県美里町内の会場に 400 人が集い、真の父母様の御聖誕祝賀式典を行いました。天父報恩鼓の演奏でオープニングを飾った 1 部は、敬礼、家庭盟誓、代表報告祈禱に続き、記念説教。2 部ではプロのチェロとピアノの演奏会、小学生による真のお母様の生涯路程の演劇、合唱、御聖誕を祝う詩の朗読を披露しながら、真の父母様の御聖誕を祝いました。



静岡

祝福二世が中心となって祝祭開催

東静岡教区は 2 月 14 日、静岡市内の会場で「2016 天地人真の父母 御聖誕祝祭」を開催、約 350 人が集いました。今回は二世の青年学生が企画・運営を担当。司会も二世の男女が息の合った進行で会場を盛り上げ、二世の成和部長による説教や、小中学生と青年による真の父母様への感謝の手紙が参加者に新鮮な感動を与えました。地元議員は来賓挨拶で、子供たちの手紙朗読を聴く中で、自分の心が洗われたと感想を述べていました。



福岡

新しい時代の到来を祝賀



南福岡教区の久留米家庭教会は 2 月 14 日、「天一国基元節祝祭」を開催。「真の父母様御聖誕日」祝賀行事のダイジェスト映像を見た後、峯崎隆生副教会長が「新しい時代の到来」と題して記念説教を行いました。エンターテインメントでは、祝福二世の青年、中高生がダンスやギターの弾き語りを披露。午後からは、子供たちも交えて餅つきを行い、「お祝い餅」が全員に配られました。